

国際公共経済学会事務局

112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学経済学部松原聡研究室内  
HP <http://ciriec.com> / Mail [japan@ciriec.com](mailto:japan@ciriec.com)

- 今号の目次
1. 第3回春季大会のお知らせ
  2. 『国際公共経済研究』第26号投稿募集
  3. 第29回研究大会、学会4賞報告
  4. 事務局より

## 1. 第3回春季大会：3月7日(土)・8日(日)のお知らせ

### (1) 春季大会について



実行委員長  
齊藤由里恵

若手中心の研究会として始まった春の大会を、一昨年から「春季大会」として開催することになり、第1回が名古屋学院大学、第2回が東洋大学で開催されました。第3回春季大会となる今年は、徳山大学が大会担当校となり、周南市市民館（山口県周南市）での開催になります。会場は徳山駅から徒歩7分。徳山駅は広島から新幹線のぞみで約20分（新大阪から約2時間、東京から約4時間半）、また羽田空港からは岩国錦帯橋空港、宇部空港、広島空港をご利用いただけます。（岩国錦帯橋空港から会場までは、乗合タクシー（前日までの予約が必要）にて約1時間半。4200円）

本大会は、修士論文、若手一般報告の他、地域活性化シンポジウム（パネリスト：木村健一郎周南市長、尾形武寿日本財団理事長、根本祐二東洋大教授他）、地域防災シンポ（(独)防災科研と共催）、次世代政策VOTE（若手研究者による政策提言）をプログラムしております。また、7日（土）夜は徳山湾夜景クルーズ、8日（日）午前には徳山競艇場視察のエクスカッションを予定しております。みなさんのご参加をお待ちしております。それぞれの発表や修士論文賞について、以下に詳細を記しますので、奮ってご応募ください。



日 時：2015年3月7日(土)・8日(日)

会 場：周南市市民館  
(山口県周南市岐山通り 1-4)

〔交通アクセス〕

JR 山陽本線・山陽新幹線「徳山」駅

みゆき口から徒歩7分

防長交通（バス）

「市役所前」バス停から徒歩1分

大会プログラム(暫定) 【最新のプログラムは学会 HP でご確認ください】

2015年3月7日(土)

12:00～	受付開始 (周南市民会館 小ホール前)	
12:20～13:50 (90分)	修士論文賞報告	一般・若手報告
14:00～16:00 (120分)	<b>シンポジウム【(独)防災科研との共催】</b> <b>地域防災を考えるー広島土砂災害を踏まえてー</b> 臼田裕一郎(独立行政法人 防災科学技術研究所社会防災システム研究領域災害リスク研究ユニット) 河津浩之(周南市企画総務部防災危機管理課) 前田晃(日本財団常務理事) 三浦房紀(山口大学副学長) 山本晴彦(山口大学教授)他 コーディネーター:松原聡(東洋大学)	
16:15～17:45 (90分)	<b>次世代政策VOTE2015</b>	
18:00～	懇親会 エクスカーション 徳山湾夜景クルーズ	

2015年3月8日(日)

9:00～12:00	エクスカーション 徳山競艇場視察	
12:00～13:00 (60分)	理事会	
12:00～	受付開始 (周南市民会館 小ホール前)	
13:00～14:30 (90分)	<b>シンポジウム 地域活性化を考える①</b> <b>-公共マネジメントの視点から-</b> 尾形武寿(日本財団理事長) 木村健一郎(周南市長) 湯浅俊彦(立命館大学)他 コーディネーター:仲上健一(立命館大学)/白石真澄(関西大学)	
14:40～16:10 (90分)	<b>シンポジウム 地域活性化を考える②</b> <b>-公共サービス・施設の活用の視点から-</b> 齊藤由里恵(徳山大学) 高橋聡(カルチュア・コンビニエンス・クラブ) 根本祐二(東洋大学)他 コーディネーター:白石真澄(関西大学)/仲上健一(立命館大学)	
16:20～16:30 (10分)	<b>修士論文賞・次世代 vote 表彰</b>	

## 【エクスカーションのご案内】

本大会ではエクスカーションとして、7日懇親会にて徳山湾夜景クルーズ、8日午前に徳山競艇場視察を予定しております。徳山競艇場視察をご希望される方は2月20日までにご連絡ください。

連絡先：yurie@tokuyama-u.ac.jp

## 【宿泊インフォメーション】

大会会場までのアクセスには、JR徳山駅周辺のホテルが便利です。

ルートイン徳山（JR徳山駅徒歩3分）、HOTEL AZ 山口徳山店、ホテルサンルート徳山、東横イン徳山駅新幹線口等がございます。また、周南市には温泉施設等もございます。詳しくは、周南観光コンベンション協会HP（<http://kanko-shunan.com/>）もご参照ください。

## (2) 修士論文賞の募集

春季大会で本学会の「修士論文賞」の審査、表彰を行います。この賞は、2014年度に提出された修士論文の優秀論文を顕彰するものです。まず、論文審査で4点以内の論文を優秀論文として選出します。また、その優秀論文執筆者は、春季大会にて報告して、その報告内容を含めて、最優秀論文1点を選出します。以下の応募要領に即して、奮ってご応募ください。

① 応募資格：2014年度修士論文提出者

（応募者が学会員である必要はありませんが、学会員である指導教官の推薦が必要となります。推薦書は、HPからダウンロードしてください）

② 提出論文：下記の様式及び本会執筆要領による、修士論文をまとめた、12,000字の論文3部  
および審査参考資料として修士論文原本のコピー1部

・目次：縮約版目次を作成し、修士論文原本の目次（原本コピーでも可）も添えて表紙の次に入れる。

・本文：修士論文の独創性、分析・検証手法を中心にまとめた12,000字のフルペーパーとする。

本文分量は、図表を含めてA4（1頁・35字×40行）9頁以内とする。

・アブストラクト（英文）およびキーワードの記載は不要とする。

・注ならびに参考文献リスト：全文末にまとめて記載する。これらは字数に含まない。

③ 締切：2015年2月9日（月）消印有効

（提出論文3部＋修士論文のコピーの郵送、メールでは受け付けません）

④ 郵送先：〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

東洋大学経済学部松原聡研究室内 国際公共経済学会事務局

⑤ 優秀論文審査発表：2015年2月24日（火）にHP上に掲載し、本人と指導教官に通知します。

⑥ 優秀論文報告及び最優秀論文審査・発表：2015年3月7日（土）・8日（日）の春季大会にて

## (3) 春季大会一般・若手報告の募集

春季大会での一般・若手報告は、本学会の一般、賛助会員、そして大学院生の報告を対象としております。報告を希望される方は「第3回春季大会報告希望」と明記し、①報告テーマ、②報告要旨（1,000字程度）、③氏名・所属・連絡先（住所、電話、メールアドレス）を、2015年2月12日（木）までに、下記の学会事務局宛に電子メールでお送り下さい。書式は自由です。

※ フルペーパーの事前送付は必要ありません。ただし、学会誌への論文投稿を希望する大学院生は、ここで

発表すれば、学会誌への投稿が認められます。ただし、発表から投稿締切まで僅かな期間しかありません。発表時までに論文をご用意することをお勧めします。詳細は事務局にお問い合わせください。

宛 先 : japan@ciriec.com

#### (4)次世代政策 VOTE の募集

「政策 VOTE」は、若手政策研究者の政策提言スキルを磨くために取り組み始めた政策コンペ企画です。いわゆる学会報告ではありませんが、積極的な腕試しを期待します。

ルールは下記の通りです。

- 1人10分で政策提言を実施
- コメンテーターと10分で質疑応答
- 全員の報告が終わったあとにフロアと質疑応答
- 投票（1.革新性 2.実現性 3.将来性という3つの視点で評価）

応募にあたって、題目、500字程度の概要を2月12日（木）までに次世代研究部会宛（jisedai@ciriec.com）に送付してください。

過去の発表テーマは学会HPをご確認ください。

## 2. 『国際公共経済研究』第26号投稿募集

---

学会誌『国際公共経済研究』第26号（2015年9月発行予定）の投稿を募集します。査読論文、研究ノート、図書紹介、随筆等、広く募集しますので、奮ってご応募ください。

### 1. 査読付き論文

当学会では、学会の水準向上のために、査読制度（レフェリー制度）を設けています。査読を通った論文が学会誌に掲載されます。

- ① 提出論文：本会執筆要領による、12,000字の論文、3部
- ② 締 切：2015年3月31日（火）消印有効（メールでは受け付けません）
- ③ 郵送先：〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

東洋大学経済学部松原聡研究室内 国際公共経済学会事務局

※大学院生が投稿するには、12月の研究大会か3月の春季大会での報告が義務となっています。

### 2. 研究ノート、図書紹介、随筆等

事前登録は、必要ありません。

- ① 字 数：研究ノート12,000字程度、図書紹介1,500字程度、随筆等適宜
- ② 締 切：2015年4月20日（月）消印有効（メールでは受け付けません）
- ③ 郵送先：〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

東洋大学経済学部松原聡研究室内 国際公共経済学会事務局

※掲載にあたりましては、編集委員会が審査します。

### 3. 2014 年度研究大会・学会賞報告

---

#### 1. 第 29 回研究大会報告

2014 年 12 月 12 日（土）、13 日（日）に関西学院大学において、第 29 回研究大会が開催されました。

#### 2. 学会 4 賞の決定

〈学会賞〉応募者なし

〈尾上賞〉応募者なし

〈奨励賞〉野村 実（立命館大学大学院）

「高齢者の移動保障と地方公共交通に関する研究

—社会福祉協議会の取り組む DRT（需要応答型交通）の実践から—」

〈修士論文賞〉春季大会にて決定予定

### 4. 事務局より

---

#### 1. 入退会員の紹介（2014 年 6 月～2015 年 1 月）

##### （1）入会（11 名）

一般会員（敬称略）

前野高章 日本大学経済学部  
奥貫麻紀 神戸親和女子大学文学部総合文化学科  
吉野裕介 中京大学経済学部  
尾田 基 一橋大学（特任助手）  
北島健一 立教大学コミュニティ福祉学部  
張 健 兵庫県立大学政策科学研究所  
津田直則 桃山学院大学名誉教授  
海老名一郎 拓殖大学商学部国際ビジネス学科

学生会員（敬称略）

土井 直 日本大学経済学部大学院博士後期課程  
陳 奕均 京都大学大学院地球環境学舎博士課程  
王 曉亮 創価大学大学院博士課程  
王 天荷 京都大学大学院経済学研究科博士後期課程在籍

##### （2）退会（11 名）（敬称略）

小幡範雄 岩崎 晃 林 興 吉本隆一 望月裕太 重本宗一郎 立原 繁 川野辺裕幸  
山神 進 森谷英樹 岸本建夫

#### 2. 年会費納入について

当学会は、2014 年 12 月 1 日より新年度に入りました。つきましては、2015 年度（2014 年 12 月 1 日～2015 年 11 月 30 日）の個人会費 8,000 円（大学院生は会費 4,000 円）を同封しました振込用紙で納入をお願いいたし

ます。なお、2013年度、2014年度未納の方は、併せて納入をお願いいたします。

会費未納の会員は、学会誌受領、大会参加、連携団体の会合出席等の会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意ください。

### 3. 『国際公共経済研究』第25号 訂正とお詫び

2014年9月発行の『国際公共経済研究』第25号に誤りがありました。以下のように、訂正してお詫びいたします。

p.49 「再生不能資源の課税制度の国際比較」何彦旻

---

誤 Effect of international taxation system and corporate tax rate on outward FDI

---

正 International comparison of the non-renewable resources taxation

---

### 4. 今後の主な学会行事予定

- ・次世代部会合宿 2015年9月
- ・第30回研究大会 2015年12月5日（土）・6日（日）（予定）  
テーマ：未定  
会場：名古屋学院大学  
実行委員長：伊藤昭浩（名古屋学院大学）

最新の情報は学会HPをご参照下さい

<http://ciriec.com>

## 学会賞規定、および執筆要領

### 修士論文賞規定

- 1 (目的) 国際公共経済に関する大学院修士課程修士論文等を顕彰し、修士課程在籍者およびそれに準ずる者の学術的研究の奨励に資するため、国際公共経済学会修士論文賞を設け、優秀なる修士論文等を審査選定してこれに賞を授与し、その業績を顕彰する。なお、「修士論文等」および「修士課程在籍者に準ずる者」の詳細については、理事会で決定する。
- 2 (表彰) 受賞は毎年4点以内とする。受賞者には、毎年3月に開催される「春季大会」での報告と、論文の学会誌掲載が認められ、優秀賞の賞状を授与する。さらにそのうち1点を、最優秀賞とし、賞状と記念品を授与する。
- 3 (論文の応募資格) 当該年度修士論文等の提出予定者  
なお、修士論文賞応募者については、学会員であることは不要とするが、「学会員である指導教官の推薦書」を必要とする。
- 4 (応募論文) 応募論文は、修士論文を12,000字以内にまとめたフルペーパーとする。
- 5 (公募) 本賞は、毎年1月に公募を開始し、2月10日に締め切る。公募の詳細については、審査委員会において決定する。
- 6 (審査) 審査委員会は、応募論文を審査し、3月1日までに4点以内の受賞作を決定し、発表する。また、この受賞作の春季大会での報告のプレゼンテーションを審査し、論文審査と総合して最優秀賞を決定する。
- 7 (報告) 研究会において審査委員長は、審査の経過を報告して、会長は対象作に賞を授与する。また、学会機関誌等でこれを公表する。

### 国際公共経済学会論文執筆要領

- (1) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、図表を含め、12,000字以内とする。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名・キーワード(5語程度)を日・英文で明記する。また、英文要旨(5行程度)を必ずつける。
- (2) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。
- (3) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。
- (4) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示する。
- (5) 注は文中の肩に(注1)のように記し、論文末尾にまとめる。
- (6) 章・節は、1、2、1)、2)、(1)、(2)の記号による。
- (7) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。  
著書(単独)の場合 執筆者名、[出版年月]、『書名』、出版社、引用ページ  
著書(複数)の場合 執筆者名、[出版年月]、「論文名」、編集者名、『書名』、出版社、引用ページ  
論文の場合 執筆者名、[出版年月]、「論文名」、『雑誌名』、巻号、引用ページ
- (8) 提出：事務局に郵送にて3部提出。  
学会事務局から、概ね1週間以内に受領メールを出します。  
返信のない方は、事務局までお問い合わせください。